

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部産業雇用支援課	■担当係	工業係
■評価事業名称	3次元ものづくり技術人材育成事業費補助金		
■事業開始年度	平成19年度		
■評価事業コード	060200 - 234	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上	
	■施策	02 ものづくり人材の育成	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称	無し		
■関連計画の名称	北上市工業振興計画		
■事業の概要	地場の中小企業が新製品の開発や製品の品質向上につなげ、競争力を高めていくとともに、企業在職者をはじめ学生や求職者の人材を育て、地域経済の活性化を図っていくため、3次元ものづくり技術に関する人材育成及び当該技術の地域企業への普及を推進するもの。3次元ものづくり技術に関する人材育成及び当該技術の地域企業への普及を推進する団体に対し、運営に係る補助金を交付するもの。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	3次元ものづくり技術人材育成事業費補助金	市民、企業	①定期講習:10回②企業オーダーメイド講習:10回③講師派遣講習:10回	①定期講習:24回(200人)②企業オーダーメイド講習:3回(19人)③講師派遣講習:19回(222人)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	10,005	10,012	10,008	10,005	
人件費	1,952	1,679	999	1,906	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,957	11,691	11,007	11,911	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	受講者数	428	276	282	441	

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

ニーズに応じて、複数の人材育成メニューを展開し、3次元設計技術をはじめとする高度な技術を持った人材の輩出に繋がっている。

問題点・課題等

岩手県の委託事業、当市の補助金により3次元技術者の育成事業を展開しているが、県の委託事業に左右され、運営が不安定なものとなっている。今後需要の拡大が見込まれるデジタルエンジニアの育成を促進するために、講師や設備等の体制を強化する必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

3次元設計開発技術は受注拡大や生産プロセスの効率化にもつながる技術であり、第4次産業革命技術の導入を進めるうえで重要な基盤であることから、ものづくり産業の振興を図るうえで3次元技術者の育成を一層強化する。課題となっている長期安定的な運営の在り方について、運営協議会で検討する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了